

次年度への引継ぎ事項

【事業構築面での問題点・引継ぎ事項】	
問題点 1	事業名を「共に育む体験・郷育事業」としていましたが、外部発信で使っていた「共に育む体験・郷育事業～KIDS 体験！にいがた魅力キャンパス～」とした方がよかったです。
引継ぎ 1	事業名と実際に広報で使う名前は一致させた方が良いです。
問題点 2	小学4年生～6年生を対象とした時に、グループワークの最後の設問の「後継者を作るためにはどうしたらいいでしょうか」という問いは少し難しく、議論が停滞しがちだった。
引継ぎ 2	対象年齢を考えた時に、もう少し段階を踏んだ質問にするか、容易な設問にすべきでした。村上、加茂事業では子供を率いるメンバーに積極的にアドバイスをすること、シナリオに回答例を記載する等の対策を取り、一定の効果がありました。
【事前広報面の問題・引継ぎ事項】	
問題点 1	Google広告を配信する際に、本人確認のために登記簿謄本が必要だと審議後にわかり、日本青年会議所本会に登記簿謄本取得を依頼することとなりました。
引継ぎ 1	Google広告をする際は登記簿謄本が必要であることを把握し事前に事務局と協議しておいた方が良いです。また、Google広告以外でも必要となる書類があるかどうか確認して取り組むべきです。
問題点 2	各地の校長会に連絡をした際に、ある校長先生から「県教育委員会の後援をもらっているのであれば、PDFデータを送れば学校によっては印刷して配布してくれるところもあるのではないか」と助言されました。ですが、そちらを想定した依頼文書を作成してできていませんでした。とりあえずは口頭で説明・依頼して対応しました。
引継ぎ 2	依頼文書は、それぞれの立場に立って必要なものをしっかりと作成しておいた方が良いです。
問題点 3	小学校校長会といつても数種類あり、行政主導のもの、学校主導のもの、さらにいえば単独市町村単位のもののほかに郡市単位のものまでありました。それぞれの違い(どこまで含まれているか、どこが窓口か、どの程度の頻度で行われているか等)を把握したうえで広報した方がより効果的だったと思われます。
引継ぎ 3	小学校校長会の概要を把握したうえで、先方によく確認しながら話すようにした方が良いです。
問題点 4	事業の案内を電子配信することとしていたが、市町村によっては電子案内を受け付けていないところもあった。
引継ぎ 4	可能であればデータではなく紙の方が全生徒に配られやすいのではないかと思われます。
問題点 5	SNS配信記事の作成が直前になりバタバタしてしまった。
引継ぎ 5	余裕の持った日程で記事作成を進めた方が良いです。
問題点 6	各地の校長会にアポを取る際にメンバーで手分けして実施しましたが、聞くべきことを聞けていなかったり、誤ったことを伝えたりする事例があった。
引継ぎ 6	アポ取りのシナリオを作成し、担当者に電話で指示をした上でも間違えることもあります。アポ取りなどの連絡はあまり担当者を分け過ぎない方がいいと思われます。また可能なら対面でアポ取りのロールプレイをする等の練習も検討しても良いかもしれません。
問題点 7	SNS広告配信だけでは目標とする申込者数に対して不十分でした。
引継ぎ 7	今回の実績データを事業構築の参考としてください。また、事業自体の時期や内容による影響も大きいのでよく検討をお願いします。

【事前準備の問題・引継ぎ事項】	
問題点 1	糸魚川事業の際、バス運行予定経路だった一部の道路で冬季中の落石で通行止めが発生していました。事前に行政側と連絡を取り情報を取得していたためルートとタイムスケジュールを一部変更して対応しました。
引継ぎ 1	計画段階から、ルート上で通行止めや災害などのリスクが無いか調査したり聞き取りをしたりした方が良いです。
問題点 2	事業内容をメンバーに周知して事業効果を高めるために事前説明会を行ったが、参加者が少なく効果が薄かった。
引継ぎ 2	事業説明会の日程周知を早めに行い、キーマンには積極的に参加するようにしっかりと声掛けするようにした方が良いです。
問題点 3	動画撮影の行程が詳細に詰め切れていた。
引継ぎ 3	動画撮影者と密に調整を行い、口ケハシ等含めて十分な準備をした上で撮影に臨んだ方が良いです。
問題点 4	申込みの時に友達同士で申し込んだ子供たちが、別々の班になってしまったパターンがありました。
引継ぎ 4	友達同士と一緒に活動できた方が子供たちも楽しみながら体験でき、良い体験になると思われます。可能な限り参加者の意向を踏まえた班分けとした方が良いです。
問題点 5	参加者名簿で、一部の子供の名前にフリガナがなく困りました。
引継ぎ 5	申込時にフリガナが入力されていないことがありました。フリガナは必須入力にするなど、全員に振るようした方が良いです。
【事業当日の問題・引継ぎ事項】	
問題点 1	子供を引率するメンバーが十分に地域の魅力を把握していないときがあり、子供たちに十分に魅力や課題を伝えることができていないことがあった。
引継ぎ 1	事前説明会で十分に周知するほか、地域の魅力に詳しいメンバーに協力してもらったり、補足資料を用意して説明できるようにしたりするなどした方が良いです。
問題点 2	子供たちが緊張で固くなってしまい議論が停滞することがあった。
引継ぎ 2	グループ分けで友達と一緒にしてあげたり、アイスブレイクを取り入れてみたり、メンバーが声掛けするよう促したりして緊張を緩和できるようにした方が良いです。
問題点 3	糸魚川事業の際に、バス酔いで体調を崩す子供がいました。
引継ぎ 3	事前にどの程度の時間山道を走る等の情報を参加者に伝えてあげた方が良いです。
問題点 4	受付開始時間より早く来た参加者がいて、誘導員の配置が間に合わずに参加者が少し道に迷った事例がありました。
引継ぎ 4	事業開始前は、早めに準備を開始して余裕を持って対応できるようにした方が良いです。
問題点 5	村上事業で、法被に着替えるための更衣室スペースがあることが周知できていなかった。
引継ぎ 5	更衣室スペースの入り口に表示を張るなどすればわかりやすかったです。
問題点 6	保護者が子供たちとどれくらいの距離間で関わるのかが今一つ不明確でした。
引継ぎ 6	事業の目的に照らして、適した距離感を設定するとともに、事前に参加者にもその旨を伝えておくべきです。
問題点 7	グループワークの発表の時に、子供たちの自己紹介をする場があった方がよかったです。保護の人たちも見たがっていたようだった。
引継ぎ 7	可能であれば、思い出に残すためにも子供たちの自己紹介の場は用意してあげた方が良いです。

問題点 8	グループワークの発表時に、進行方法の詳細が定まっていなかったためグループごとに発表の仕方・内容に差が出てしまいました。
引継ぎ 8	シナリオ等に具体的な手順を記すなどして、ある程度は統一した方が良いです。
問題点 9	加茂事業で、グループワーク会場の空調が一部故障していて少し暑かった。 (事前に現地確認をしていたが、その際は事業日までには修理完了の見込みという回答でした)
引継ぎ 9	可能であれば会場の予備を用意しておいた方が良い。
問題点 10	加茂事業で、猛暑の中での事業だったため、若干名具合の悪い子が出てしまった。 (屋外体験場所のすぐそばに救護車を止めていたので、体調不良者は空調の利いた車内で休み回復しました。)
引継ぎ 10	可能であれば参加者全員を収容できる休憩スペースがあるとなお良かった。また、暑い屋外に長くいなくて済む方策検討も大事と思われます。
問題点 11	加茂事業で、体験の時間が当初予定より 20 分程度オーバーしてしまった。 (移動時間短縮のためメンバーの車でピストン輸送したり、グループワークの進行方法を変えて対応したため、終了時間は予定通りとすることができた)
引継ぎ 11	講師と相談したうえで体験内容を決めたとしても、リハーサルをするなどしてみないとわからないところも多い。事前のリハーサルを実施すべきでした。